

2024 SUPER FORMULA Round.8/9

All Photographs by Noriaki MITSUHASHI / N-RAK PHOTO AGENCY

SUZUKA



全日本スーパーフォーミュラ選手権 2024 第8戦・第9戦
2024年11月9日(土)～10日(日)
鈴鹿サーキット(三重県)

フリー走行

11月8日(金) 天候:晴れ 路面:ドライ

3月に開幕した2024年の全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全国各地のサーキットを転戦し、いよいよシーズン最終大会を迎えた。舞台は開幕戦と同じ三重県の鈴鹿サーキット。世界有数のドライバーズサーキットであり、難攻不落のコースだ。

今季、着実な手ごたえを得ていながらも、なかなか歯車が噛みあわずポイント獲得を果たせていない docomo business ROOKIE と大嶋和也は、今シーズンを良いかたちで終え、2025年に繋げるべくシーズンラストのレースウィークに臨んだ。今回は開幕戦と異なり1大会2レース制で争われるほか、季節も変わっている。11月8日(土)に予定されていた第8戦の公式予選、決勝レースに向け、午後2時25分から始まった専有走行でクルマのセッティングを進めていった。

肌寒さを感じはじめてはいたものの、晴天に恵まれこの時季としてはやや暖かさを感じるなか迎えた専有走行では、大嶋は5回のピットイン～アウトを繰り返しながらセッティングを確認していった。

前大会の富士からさまざまなトライを行ってきたチームと大嶋だが、今回もトライを継続し、「今までの鈴鹿では試したことがない」と大嶋が言うセッティングで走行していた。

挑戦ではあったものの、これが想像以上に大嶋にとって良い感触となっていた。「思った以上にフィーリングが良くて、まだまだ直したい部分もあるものの、驚くほどグリップ感があります」と大嶋好みの方向に向かっていた。

セッション終盤に向けコンディションも良化していくなか、大嶋は残り10分を切ってひと足早くアタックシ

ミュレーションを実施。1分38秒352にタイムを上げると、13番手で専有走行を終えることになった。「予選ではもっと気温が低いでしょうし、明日のコンディションがどうな

るかにもよりますが、この雰囲気グリップがキープできれば、上位で争えそうだと感じました」と大嶋は翌日の第8戦に向け、好感触を得て走行初日を締めくくった。



第8戦公式予選

11月9日(土) 天候:晴れ 路面:ドライ



好調のなか終えた専有走行から一夜明け、迎えた11月9日(土)は気温15度/路面温度16度というコンディションのもと、午前9時05分から公式予選がスタートした。今回、大嶋はB組からの出走だ。

これまで鈴鹿では試していないセッティングの方向をさらにブラッシュアップさせ臨んだ大嶋はタイヤをウォームアップさせていったが、いざアタックに入ろうかというタイミングでストップ車両が発生。一時赤旗中断となる難しい予選となってしまった。

しかし再開後、大嶋は1分37秒636を記録。これが6番手タイムと

なり、見事Q2進出を果たしてみせた。

チームにとっても大いに勇気づける予選となり、続くQ2ではさらなる上位を目指しアタックを展開した。「少しアンダーステア寄りにバランスが変化してしまった」という大嶋だったが、それでも1分37秒300を記録。これで13番手という位置から決勝レースを戦うことになった。

これまで予選ではなかなかQ2を戦うことができなかった大嶋だが、最終大会での中団グリッド獲得は大いにチームを盛り上げる結果となった。

予選後、チームと大嶋は綿密に決勝に向けた準備を進めた。

第8戦決勝レース

11月9日(土) 天候:晴れ 路面:ドライ

午前の予選から約4時間30分のインターバルで迎えた第8戦の決勝レース。13番手という位置を結果に繋げるべく、大嶋とチームは気温21度/路面温度31度というコンディションのもと迎えたスタートに臨んだ。

大嶋のスタートは良く、オープニングラップをポジションどおりの13番手で終え、混戦のなか入賞圏内を目指していく。ただ、決勝レースのペースは大嶋の期待ほど良いわけではなく、少しずつタイヤが消耗してくるとともにバランスが苦しくなってしまった。

そんななか、10周を終えてチームは大嶋をピットに呼び戻した。得意のアンダーカット作戦だが、これまで後

方グリッドから、この作戦で入賞に迫るところまで追い上げられていた。今回は中団からのスタートで、入賞圏内進出に期待がかかる。チームは迅速な作業で大嶋を送り出した。

タイヤを交換してからは大嶋はペースを取り戻し、10番手を狙う位置につけていく。そんななか18周目、タイヤ交換を行った#19平良響の車両からリヤタイヤが脱落し、2コーナイン側のクリッピングポイントに止まってしまう。これでレースはセーフティカーランとなった。

大嶋のレース中盤のペースは悪いものではなかったが、このセーフティカー導入の前後でピットインした車両が大嶋の後方に入ってしまった。大嶋よりもタイヤはフレッシュな状態。23周目のリスタート後、大嶋に迫ってくるのが予想された。

予想どおり、リスタートしてから大嶋はタイヤを換えたばかりの#39大湯都史樹にオーバーテイクされてしまう。とはいえ、この時点で大嶋はまだ10番手。残りは9周で、これを守り切れば待望のポイントが手に入る。

大嶋は必死の防戦で、背後につけた#37笹原右京のアタックをしのいでいたが、23周目、#37笹原がアウトから仕掛けてきた。しかし、外側の汚れた路面に足をすくわれたか、



#37 笹原はスピンを喫してしまう。大嶋はイン側でコーナリングをしていたが、#37 笹原がコントロールを失い、大嶋にヒットしてしまった。

このダメージが大きく、大嶋はスプーンカーブ立ち上がりで車両を止めることになってしまった。今シーズン、求め続けてきたポイントまであとわずかだったが、その夢は潰れてしまうことになった。

この接触は競り合いながらのものだったことから、レーシングアクシデントという裁定が下されたが、#37 笹原はレース後大嶋に詫言。ただ大嶋も悔しさを抑えながら、「仕方がないよ」と声をかけた。

喉から手が出るほど欲しかったポイントは手に入れることができなかった。しかし、このレースではポイントを得る手ごたえも感じることもできた。docomo business ROOKIEは、翌日に控えた今季最終戦へ向け、一片の悔いも残すまいと、車両を良い状態に戻すべく修復に取りかかった。



第9戦公式予選

11月10日（日） 天候：曇り 路面：ドライ



第8戦の決勝で受けた車両のダメージの修復は11月9日（土）の深夜まで行われた。午後10時頃には、懸命に作業を続けるメカニックたちのもとにモリゾウも激励に訪れた。

そんなチーム全員の期待とともに修復は完了し、11月10日（日）は午前9時15分から行われた第9戦の公式予選に臨んだ。ただQ1のA組から出走した大嶋だが、初日から好調だったフィーリングは、残念ながらガラリと変わってしまっていた。スーパーフォーミュラは非常に繊細で、やはりサーキットでの修復では、ファクトリーで高い精度をもって組み上げた状態

に戻すことはできなかった。本当にわずかな違いがセットアップに色濃く影響する。アクシデントの影響が尾を引くことになってしまった。

そんななか、大嶋は4周目に1分39秒257を記録するものの、結果は9番手。Q2進出にはまったく届かないタイムで公式予選を終えることになってしまった。

とはいえ、嘆いてばかりもいられない。公式予選で得られたデータをもとに、決勝レースに向けてセットアップをアジャストするべく作業を進めた。泣いても笑っても、午後のレースが今季ラストの戦いだ。

第9戦決勝レース

11月10日（日） 天候：曇り 路面：ドライ

第9戦の決勝日、鈴鹿サーキットには1万9000人もファンが詰めかけ、ゲストなども来訪。最終戦らしい大きな賑わいのなか、午後2時30分にレースのフォーメーションラップがスタートした。

気温20度／路面温度25度というコンディションのもと迎えたレースでは、大嶋はまず1周目をグリッドどおりの18番手で終えた。ただ5周目には#19 平良響、6周目には#12 三宅淳詞にオーバーテイクを許し、大嶋は20番手にドロップしてしまった。

今回もチームはアンダーカットを狙う作戦を立て、10周を終えてピットウィンドウがオープンすると、大嶋は

さっそく呼び戻した。ただ、今シーズン何度も大嶋を助けてきたピット作業にわずかにほころびが。本当に短時間ながらタイムロスをしてしまう。

とはいえ、大嶋は順位を大きく落としたわけではなく、コースに復帰するとスパートをかけはじめた。

レース序盤こそバランスに苦しんでいた大嶋だったが、チームが予選後から進めたセットアップのアジャストにより、タイヤ交換を行ってから感知は比較的良好なものになっていた。

大嶋は16周目、#39 大湯都史樹をオーバーテイクすると、19周目には序盤ポジションを譲っていた#12 三宅を抜き返すなどバトルを展開していった。

上位陣のなかでは今回、ピット作業を遅らせるオーバーカットの作戦を採ったドライバーは少なかったが、レースが22周目を迎えるころ、順位が落ち着いてきた。大嶋は15番手につけ、レース終盤まで前を追う粘りの走り続けていった。

ただ、このレース後半では上位陣と互角のタイムで走ることができていたものの、セーフティカーラン等もなく、いかにグリッド位置の悪さは取り返しづらいレースとなった。

第8戦で接触し、今回も前を走っていた#37 笹原を大嶋は最後まで追っ



ていったものの、最後は追撃むなく、31周のレースを走り切ったが、15位でチェッカーを受けた。

docomo business ROOKEと大嶋は、この第9戦で今シーズンの戦いを終えた。結果はノーポイント。何度も入賞圏内に近づくことはできたが、そのたびにアクシデントにも見舞われるなど、速さを結果に繋げることができない不運なシーズンとなった。

第8戦でのアクシデントから週末の流れを失ってしまったが、これもまたレース。docomo business ROOKEは、今シーズン得られたスピードを結果に繋げるべく、12月にこの鈴鹿の地で行われるテストに臨んでいく。

昨年の第5戦 SUGOのような目立つハイライトはなかったが、チームは着実に力をつけた。

来シーズンのスーパーフォーミュラはふたたび顔ぶれも変わるはず。大嶋はレース後に行われたシーズンエンドイベントをこなしながら、2025年の巻き返しを心に誓っていた。



ドライバー／監督コメント



DRIVER

大嶋 和也

Kazuya OSHIMA

「今回、鈴鹿ではやったことがないようなセットで臨みましたが、サブとして用意したセットアップで、不安はあったものの、思ったよりもバランスが良かったです。第8戦では予選Q2に進出でき、決勝ではリヤがタレてきたときのバランスが苦しかったものの、タイヤ交換してからはペースも良くなりました。アクシデントは仕方ないですが……。第9戦ではいろいろな物を変えたので、やはりフィーリングが変わっていました。セットアップ変更を行っていき、第9戦のレースでは感触は良くなっていたものの、やはりファクトリーでみんなが組んでくれた感触とは違いましたね。今季は手ごたえは得ていて、気持ち良く走ることはできましたが、結果には繋がらなかったのは残念でした。でもチームの一体感を感じましたし、来年には繋がるだろうと思っています」



DIRECTOR

石浦 宏明

Hiroaki ISHIURA

「今週は第8戦でのアクシデントに尽きるかもしれませんね。第9戦では、深夜までメカニックのみんながクルマを直してくれたものの、大きな空力パーツなども変わっていたので、ぶっつけ本番の予選になってしまいました。特性もどうしても変わるので狙いどおりにはできませんでした。決勝ではしっかりと合わせ込み、後半スティントのペースは上位陣と同じくらいでは走ることができていました。ピット作業もミスがあり、ポイント圏内には入れなかったものの、良いペースで走れたことは、次に繋がる内容になったのではないかと思います。ただモリゾウさんから『来年に繋がるレースなので頑張ろう』という言葉ももらい、みんながその気持ちでレースができたのは良かったです。来月のテストからさらにレベルアップしていきたいですね」



全日本スーパーフォーミュラ選手権 第8戦・第9戦 リザルト

11月8日 フリー走行

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Time
1	64	山本尚貴	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	1'37.360
2	15	岩佐歩夢	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	1'37.523
3	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA	1'37.525
4	65	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	1'37.556
5	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	1'37.748
6	36	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	1'37.749
7	16	野尻智紀	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	1'37.806
8	8	福住仁嶺	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA	1'37.926
9	38	阪口晴南	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA	1'37.990
10	39	大湯都史樹	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA	1'38.128
11	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA	1'38.131
12	37	笹原右京	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	1'38.265
13	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA	1'38.352
14	4	小高一斗	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	1'38.565
15	20	国本雄資	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	1'38.566
16	50	木村偉織	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA	1'38.767
17	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA	1'38.817
18	19	平良響	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	1'38.856
19	12	三宅淳詞	ThreeBond Drago CORSE SF23	HONDA	1'39.127
20	55	大津弘樹	TGM Grand Prix SF23	HONDA	1'39.326
21	53	Juju	TGM Grand Prix SF23	HONDA	1'40.237

11月9日 第8戦公式予選

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Time
1	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA	1'36.094
2	15	岩佐歩夢	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	1'36.335
3	65	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	1'36.472
4	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA	1'36.593
5	36	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	1'36.707
6	64	山本尚貴	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	1'36.738
7	38	阪口晴南	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA	1'37.043
8	8	福住仁嶺	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA	1'37.051
9	39	大湯都史樹	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA	1'37.131
10	37	笹原右京	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	1'37.278
11	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA	1'37.300
12	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	2'08.031
13	20	国本雄資	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	1'37.610
14	16	野尻智紀	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	1'37.676
15	4	小高一斗	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	1'37.886
16	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA	1'38.218
17	12	三宅淳詞	ThreeBond Drago CORSE SF23	HONDA	1'38.046
18	19	平良響	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	1'38.300
19	55	大津弘樹	TGM Grand Prix SF23	HONDA	1'38.099
20	53	Juju	TGM Grand Prix SF23	HONDA	1'39.209
21	50	木村偉織	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA	No Time

11月9日 第8戦決勝

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Gap
1	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA	31	
2	36	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	31	4.560
3	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA	31	5.508
4	38	阪口晴南	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA	31	7.452
5	16	野尻智紀	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	31	8.225
6	8	福住仁嶺	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA	31	9.061
7	64	山本尚貴	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	31	9.326
8	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	31	10.706
9	15	岩佐歩夢	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	31	11.172
10	39	大湯都史樹	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA	31	13.172
11	50	木村偉織	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA	31	13.594
12	53	Juju	TGM Grand Prix SF23	HONDA	31	14.701
13	20	国本雄資	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	31	18.976
14	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA	31	25.164
15	37	笹原右京	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	30	1Lap
R	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA	23	8Laps
R	4	小高一斗	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	23	8Laps
R	19	平良響	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	18	13Laps
R	55	大津弘樹	TGM Grand Prix SF23	HONDA	17	14Laps
R	65	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	11	20Laps
R	12	三宅淳詞	ThreeBond Drago CORSE SF23	HONDA	0	31Laps

全日本スーパーフォーミュラ選手権 第8戦・第9戦 リザルト

11月10日 第9戦公式予選

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Time
1	16	野尻智紀	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	1'36.542
2	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA	1'36.797
3	36	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	1'36.844
4	65	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	1'36.882
5	8	福住仁嶺	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA	1'37.032
6	38	阪口晴南	VERTEX CERUMO・INGING SF23	TOYOTA	1'37.079
7	37	笹原右京	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	1'37.084
8	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	1'37.189
9	64	山本尚貴	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	1'37.239
10	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA	1'37.245
11	15	岩佐歩夢	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	1'37.326
12	39	大湯都史樹	VERTEX CERUMO・INGING SF23	TOYOTA	1'37.629
13	55	大津弘樹	TGM Grand Prix SF23	HONDA	1'38.351
14	20	国本雄資	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	1'38.228
15	50	木村偉織	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA	1'38.599
16	4	小高一斗	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	1'39.229
17	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA	1'38.661
18	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA	1'39.257
19	19	平良響	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	1'39.054
20	12	三宅淳詞	ThreeBond Drago CORSE SF23	HONDA	1'39.330
21	53	Juju	TGM Grand Prix SF23	HONDA	1'41.039

11月10日 第9戦決勝

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Gap
1	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA	31	
2	36	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	31	5.460
3	8	福住仁嶺	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA	31	6.691
4	16	野尻智紀	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	31	11.787
5	65	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	31	13.066
6	64	山本尚貴	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	31	21.338
7	15	岩佐歩夢	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	31	22.492
8	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA	31	23.271
9	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	31	25.976
10	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA	31	26.112
11	50	木村偉織	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA	31	27.277
12	20	国本雄資	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	31	41.723
13	38	阪口晴南	VERTEX CERUMO・INGING SF23	TOYOTA	31	42.578
14	37	笹原右京	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	31	47.954
15	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA	31	49.614
16	39	大湯都史樹	VERTEX CERUMO・INGING SF23	TOYOTA	31	56.274
17	19	平良響	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	31	1'01.132
18	12	三宅淳詞	ThreeBond Drago CORSE SF23	HONDA	31	1'04.641
19	4	小高一斗	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	31	1'05.938
20	53	Juju	TGM Grand Prix SF23	HONDA	31	1'06.829
NC	55	大津弘樹	TGM Grand Prix SF23	HONDA	25	6Laps

ROOKIE RACING

SUPER
FORMULA

ROOKIE Racing の活動は、多くの皆さまのご協力によって支えられています

**d docomo
business**

DENSO

**OGURA
CLUTCH**

**HAYASHI
TELEMPU**

いつもさいしょ、アタラシイコト。
!TEC
Creative Power

SMBC

KINTO

NSK

vūteq

TAMIYA



ENKEI

asics

ThreeBond

CISCO